

(低圧)

系統連系保護協調チェックリスト

・ご契約名義 _____ ・常時逆潮流 **有** ・ 無
・発電設備種別 **自励式インバータ** ・ その他 () ・ 発電設備容量 **5.9** kW

No.	チェック項目		申請リー 等		判 定 基 準		チェック結果（電力会社記入）	
1	保護継電器の種類と設置相数		Ry. Dev	相 数	特 例 事 項 等	相 数	補 足 説 明 (非適合の理由等)	適 否
	構 内 事 故	OCR-H			・ MCB または ELCB で可			
		OCGR			・ ELB または ELCB で可			
	電 力 品 質	UVR	インバ-タ 内蔵	2	・ α : 3 相-3、単 3-2、単 2-1	α		
		OVR	インバ-タ 内蔵	2	・ β : 3 相-2、単 3-2、単 2-1	β		
		UFR	インバ-タ 内蔵	1		1		
		OFR	インバ-タ 内蔵	1	・ 逆潮流がある場合に限る	1		
	単 独 運 転 防 止 ・ 自 動 再 閉 路	単独運転 検出機能	動作説明を 添付のこと		・ 逆潮流がある場合に限る ・ 能動的方式、受動式方式それぞ れ 1 方式以上を採用			
		逆充電 防止機能			・ 逆潮流がない場合に限る ・ UPR による逆充電防止機能の 設置 n : 3 相-3、単 3-2、単 2-1 (単相負荷のない場合 3 相電力 の合計でも可) ・ 単独運転検出機能でも可	n		
		R P R			・ 逆潮流がない場合に限る ・ UPR による逆充電防止機能を 設置すれば省略可 (単独運転検 出機能採用時は必要)	1		
投入ロック		インバ-タ 内蔵機能		・ 電力系統停止中は投入できな いこと ・ 復電後 300 秒間は投入できな いこと				
2	遮断 CB		電磁 接触器		・ 受電用 CB（配線用遮断器）または 発電用 CB を遮断させる ・ CB は発電設備からの最大短絡電流 が遮断可能であれば電磁接触器で も可			
3	絶縁変圧器		なし		・ 次の両条件を満足する場合、省略可 ① 直流回路が非接地または高周波変 圧器を用いる場合 ② 交流出力側に直流検出器を備え、直 流検出時に交流出力を停止する機 能を持たせる場合			
4	継電器の整定値				・ お客さまで、判る範囲でチェックの こと			
5	保護ブロック図				・ 理論的に不合理がないこと			
6	漏電遮断器				・ 逆接続可能型			

・ 各保護装置の性能は、公的機関の認証 (JET 等)、工場試験結果等で確認する。